

視察した学校についての紹介

視察した
学校名 筑波大学附属中学校【東京都】

国語科
研究主題 「問いを立てて考える力」を育てる(3年次)

国語科の研究

- 漢文の世界を探る(第1学年)
- 古人と語る ～徒然草をどう読むか～
(第2学年)
- わたしが描きたかったものは…
～作者の意図を想像する
「平家物語」～(第3学年)
- 漢詩の心象風景を読む(第3学年)

学校の
特色

	単元名	年	学習活動における「問い」に関わる要素
1 年 次 : 令 和 三 年	読書のひろがり ～おススメの本を紹介しよう～	1	「何のために読書をするのか」という問いを内在させつつ、探究する問いとテーマを学習者自身に設定させる
	「鬼」とは何か ～何のために、何を問うか～	1	問いを定めるまでの過程を重視し、「何を目的としてどのような問いを立てるのか」を学習者自身に意識させる
	漢文を読み継ぐⅡ 一漢詩の心象風景を描いて一	2	日中の指導者で協力して作成した「鑑賞の手引き」を活用し、対象となる漢詩作品に問いを立てさせる
2 年 次 : 令 和 四 年	質問づくりで読み解く「故郷」	3	「質問づくり」の手法を用いて立てた問いを、学習者自身の力で分類・整理したり書き換えたりして追究する
	問うことで想像を広げる 一言業遊びから文学の創作へ一	1	言葉遊びでつくった言葉に問いを立て、他の学習者と交流しながら想像を広げ、詩や物語を創作する
	昔話はなぜ語り継がれてきたか	1	学習者の気づきや自然に発せられる問いを重視し、その中から「追究したい問い」を話し合いで絞らせ追究させる
3 年 次 : 令 和	問いを立てて読む「タオル」	2	学習者に「追究する価値のある『問い』の条件」を検討させ、問いを「吟味し選定する段階」まで委ねる
	漢文を読み継ぐⅢ ～『論語』を巡るエッセイの交流～	3	日中台の読者の読みに触れることで、『論語』の章句に対する自らの「問い」を更新したり重ねたりして読み進める

視察した学校の取組から学べること

【取組①】生徒の「問い」を中心に進める授業の実践

- ・ 2年生の「走れメロス」では、「追究すべき問いの条件」とは何かを考えながら「問い」を吟味し、立てた問いについて追究し、発表していた。

<成果>

- ・ 生徒の問いから追究を進めることで、意欲的に作品に向き合うことができる。
- ・ 友との共有を通して、さまざまな視点から作品の価値に触れることができる。

【取組②】多くの資料を使って「親しむ」実践

- ・ 2年生の「徒然草」では、22の章段を紹介して、グループごとに異なる章段を追究していた。また、共通点のある章段を複数まとめて追究するグループもあった。

<成果>

- ・ 生徒は、多くの作品に触れることで、作者の人柄にも触れることができる。
- ・ 教師は、多くの教材研究が必要だが、作品の本質に迫ることができる。